

# 第18回情報学シンポジウム

# 生成AIとICTが拓く未来： 市民参加型デモクラシーとまちづくり

# 7月18日(金)9:30-12:00

会場：日本学術会議講堂  
およびオンライン配信  
参加無料・要参加登録



近年、生成AIやICTの進化は自治体運営や市民参加型の民主主義、持続可能なまちづくりに大きな影響を与えています。本シンポジウムでは、これらの技術が政治や市民の関わりに与える影響、民主主義の進化、そして研究者の役割について議論します。多様な分野の専門家や実務家を招き、新たなガバナンスとまちづくりの可能性を探ります。

## プログラム

司会：城山 英明（日本学術会議第一部会員、東京大学公共政策大学院、東京大学大学院法学政治学研究科）

9:30 開会挨拶

下條 真司（日本学術会議第三部会員、情報学委員会委員長、青森大学ソフトウェア情報学部教授）

9:40 基調講演

「新しい民主主義の地平を切り開く

—自治体におけるデジタルを活用する政策形成への市民参画の仕組み—

栗本 拓幸（株式会社Liquitous 代表取締役CEO）

10:10 基調講演

「トランプ2.0とデジタル民主主義」

宇野 重規（東京大学社会科学研究所長）

10:45 パネル討論「生成AIによって民主主義は変貌をとげるか」

（パネリスト）

栗本 拓幸

宇野 重規

関 治之（一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事）

稲継 裕昭（早稲田大学政治経済学術院教授）

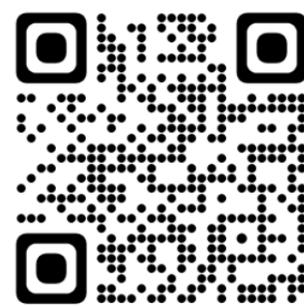
伊藤 孝行（京都大学大学院情報学研究科教授、日本学術会議連携会員）

美馬 のゆり（公立はこだて未来大学システム情報科学部教授、日本学術会議第一部会員）

11:50 総括

佐古 和恵（早稲田大学 基幹理工学部 情報理工学科教授、日本学術会議会員）

参加無料・登録はこちら



主催 日本学術会議情報学委員会、政治学委員会

共催 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所

後援（予定） 一般社団法人情報処理学会、一般社団法人電子情報通信学会、一般社団法人映像情報メディア学会、一般社団法人大学ICT推進協議会